

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年8月3日

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	愛知県	代表者名	清田 佳治		
担当者部署	総務局総務部	連絡先電話番号	052-954-6968		
担当者役職	主事	担当者氏名	瀧 直明	連絡先E-mail	
住所	460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石塚 清香
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	限られた時間の中で、BPRの考え方や進め方を、具体的な事例を紹介しながら分かりやすく解説していただいた。グループワークにて業務フローを作成した際に、各グループのレベルに合わせた的確なアドバイスを適宜いただいた。行政に携わる側の立場でお話ししていただいたので、参加者は強い共感が得られたと思われる。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年8月1日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			10時00分	16時00分	60
				活動時間(分)	300
3-2. 派遣場所	会場名	愛知県自治センター9階電算研修室	最寄駅	地下鉄市役所駅	
	所在地	名古屋市中区三の丸三丁目1番2号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	40人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	各所属でBPRまで踏み込んだDXを推進するにあたり、職員に十分な知識と経験が不足している。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・BPRに対する知識を深め、BPRを進める上で必要な思考方法を学ぶ。 ・業務の可視化を行うプロセスを学ぶ。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・トヨタ生産方式(TPS)を具体例を交えて紹介していただいた。 ・サービスデザイン思考について、横浜市が実際に行った事例をもとに、サービス設計12箇条に沿って詳しく解説していただいた。 ・マンダラチャートと業務フローを使って、業務整理のグループワークをご指導いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	研修の参加者は様々な職種の職員が集まっており、具体的な事例の紹介を交えてBPRの考え方や手法を学ぶことができたので、各自の実際の業務に当てはめてBPRを考えることができるようになった。	

(具体的にご記入下さい)	広げたいしながしとらりし、台日の天際の未務にヨシはぬしDPNをぢんるしながしとるよつになつた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 グループワークを通じて課題としている業務のAs Isの業務フローを作成した。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回のグループワークで作成した業務フローはAs Isまでのものなので、今後の研修を通じてTo Beのフローを作成し、具体的なDXへと繋げていく予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの回答締め切りが1か月半後(9月中旬)のため、報告書提出期限までに回答を得ることができません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	実践形式でDXの取組に必要なスキルを習得し、各所属のDXへの取組をより推進できる人材を育成する。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



